

# 放射線サーベイ記録

A型輸送物 1・2・3・4・5・6

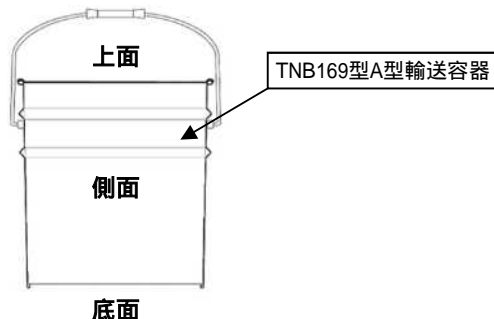
測定目的	所外運搬に伴う輸送物サーベイ	測定項目	線量当量率 表面汚染密度
測定場所	1F 車両除染・排水処理装置建屋	測定者	
測定日時	平成30年9月13日 13:55 ~ 14:33	測定器	【線量当量率】 F1-SC-135, F1-ICW-163 【表面汚染密度】 F1- -003 換算定数( ): $1.56 \times 10^{-2}$ Bq/( $\text{cm}^2 \cdot \text{cpm}$ ) 換算定数( ): $1.54 \times 10^{-2}$ Bq/( $\text{cm}^2 \cdot \text{cpm}$ )

線量当量率( ) BG: 0.23  $\mu\text{Sv/h}$

表面汚染密度( 、 )

表面汚染計数率BG( ): 0 cpm 検出限界値( ): 0.14 Bq/ $\text{cm}^2$   
 ( ): 24 cpm ( ): 0.40 Bq/ $\text{cm}^2$

## 1. 輸送物



		線量当量率( ) [ $\mu\text{Sv/h}$ ]		表面汚染密度[Bq/ $\text{cm}^2$ ] ( )内GROSS値	
		表面	表面から1m	( )	( )
1-1	輸送物1	上面	1.3	0.40	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 21 cpm)
1-2	液体試料(建屋スラッジ)	側面	3.0	0.35	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 20 cpm)
1-3		底面	1.5	0.25	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 23 cpm)
2-1	輸送物2	上面	30	1.2	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 18 cpm)
2-2	液体試料(建屋スラッジ)	側面	60	1.3	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 18 cpm)
2-3		底面	30	1.2	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 14 cpm)
3-1	輸送物3	上面	20	0.90	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 22 cpm)
3-2	液体試料(建屋スラッジ)	側面	35	1.0	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 23 cpm)
3-3		底面	27	1.0	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 28 cpm)
4-1	輸送物4	上面	0.70	0.30	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 22 cpm)
4-2	液体試料(建屋スラッジ)	側面	2.3	0.30	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 15 cpm)
4-3		底面	2.7	0.30	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 21 cpm)
5-1	輸送物5	上面	10	0.70	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 24 cpm)
5-2	固体試料(瓦礫)	側面	25	0.70	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 31 cpm)
5-3		底面	15	0.60	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 16 cpm)
6-1	輸送物6	上面	0.25	0.30	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 19 cpm)
6-2	固体試料(瓦礫)	側面	0.20	0.25	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 24 cpm)
6-3		底面	0.20	0.20	LTD : ( 0 cpm) LTD : ( 16 cpm)

(LTD: 検出限界値未満)

### 【基準】

線量当量率( ): 輸送物表面において2mSv/h以下であること

: 輸送物表面から1mにおいて100  $\mu\text{Sv/h}$ 以下であること

表面汚染密度( ): 0.4Bq/ $\text{cm}^2$ 以下であること

( ): 4Bq/ $\text{cm}^2$ 以下であること

# 放射線サーベイ記録

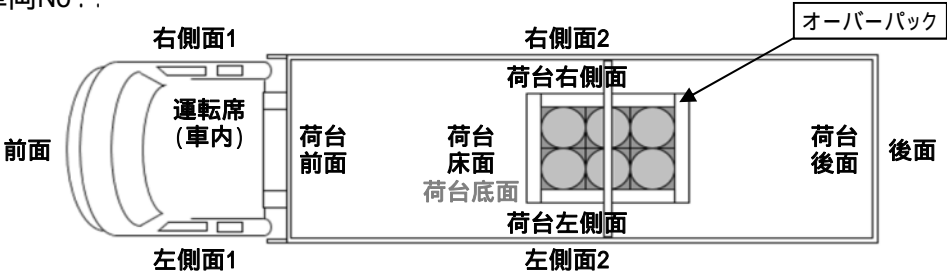
運搬車両  
(輸送物積み込み後)

測定目的	所外運搬に伴う運搬車両サーベイ (輸送物積み込み後、1F出発前)	測定項目	線量当量率 表面汚染密度
測定場所	1F 車両除染・排水処理装置建屋脇	測定者	
測定日時	平成30年9月14日 9:40 ~ 10:54	測定器	【線量当量率】 F1-SC-135 【表面汚染密度】 F1-GMAD-337 直接法換算定数: $6.97 \times 10^{-3}$ Bq/(cm <sup>2</sup> ·cpm) スミア法換算定数: $1.37 \times 10^{-2}$ Bq/(cm <sup>2</sup> ·cpm)

線量当量率( ) BG: 1.2 μSv/h  
表面汚染密度  
表面汚染計数率BG( ): 500 cpm  
直接法検出限界値( ): 1.0 Bq/cm<sup>2</sup> スミア法検出限界値( ): 2.0 Bq/cm<sup>2</sup>

## 1. 運搬車両

車両No.:



	線量当量率( ) [μSv/h]		表面汚染密度[Bq/cm <sup>2</sup> ] ( ) 内GROSS値		
	表面	表面から1m	測定方法	( )	
オーバーバック内面			直接法(スミア法)	LTD	( 600 cpm)
オーバーバック外面	13	2.6	直接法(スミア法)	LTD	( 300 cpm)
前面	1.7	1.6	直接法(スミア法)	LTD	( 300 cpm)
右側面1			直接法(スミア法)	LTD	( 300 cpm)
右側面2	3.0	1.5	直接法(スミア法)	LTD	( 300 cpm)
後面	2.2	1.2	直接法(スミア法)	LTD	( 300 cpm)
左側面1			直接法(スミア法)	LTD	( 300 cpm)
左側面2	3.0	1.4	直接法(スミア法)	LTD	( 300 cpm)
荷台底面	7.5		直接法(スミア法)	LTD	( 300 cpm)
運転席(車内)	1.2		直接法(スミア法)	LTD	( 600 cpm)
荷台前面			直接法(スミア法)	LTD	( 300 cpm)
荷台右側面			直接法(スミア法)	LTD	( 300 cpm)
荷台後面			直接法(スミア法)	LTD	( 300 cpm)
荷台左側面			直接法(スミア法)	LTD	( 300 cpm)
荷台床面			直接法(スミア法)	LTD	( 300 cpm)
荷台シート外面			直接法(スミア法)	LTD	( 300 cpm)
荷台シート内面			直接法(スミア法)	LTD	( 300 cpm)

(注) オーバーバック内面は輸送物積み込み前に測定を実施

【基準】  
線量当量率( )  
: オーバーバック・運搬車両表面において 2mSv/h以下であること  
: オーバーバック・運搬車両表面から1mにおいて 100 μSv/h以下であること  
: 運転席において 20 μSv/h以下であること  
表面汚染密度( )  
: オーバーバック・運搬車両表面において 4Bq/cm<sup>2</sup>以下であること

(LTD: 検出限界値未満)

## 2. 車両運転手の身体汚染検査

	表面汚染密度( ) [Bq/cm <sup>2</sup> ] ( ) 内GROSS値	(測定方法: 直接法)
全身	LTD ( 350 cpm)	【基準】
足裏(靴底)	LTD ( 350 cpm)	表面汚染密度( ): 4Bq/cm <sup>2</sup> 以下であること

(LTD: 検出限界値未満)